

つばさ

～男女が支え合い、いきいきと暮らせるまちをめざして～

【内容】

- ・災害に見舞われたら
- ・地域でキラめく人みつけた
津市の女性農業者
- ・男女共同参画にちなんだクロスワード
- ・津市ヘルスメイトおすすめレシピ

《情報紙の名称の由来》『つばさ』・・・「誰もが自由な心で生きられる社会を思い、男女共同参画社会の実現に向かって飛躍していきたい」という願いを含め、その力となる「翼＝つばさ」を象徴しています。

災害に見舞われたら

かつて我が国は大規模災害を何度か経験してきました。そのたびに尊い人命が失われ、大きな被害の中で避難生活を余儀なくされました。

大規模な災害が起きると、女性や高齢者などが厳しい状況に追い込まれることがあります。

今回はこうした問題にスポットを当てました。



輪島市河井町の大規模火災現場（朝市通り付近）での消防活動

災害が起こるとどんな影響が？

- 子ども 保護者が多忙になると孤立してしまい、暴力の対象となるリスクがある。
- 高齢の女性 障がいのある女性 男女一律で扱われ、支援物資の提供やプライバシーの確保が不十分になりやすい。
- 支援に携わる女性 自らも被災者である場合は、家族へのケアも担うため負担が増す。
- 男性 弱音を吐けず、リーダーの役割も担わされがちとなる。父子家庭等の男性が抱える困難についての理解が十分でない。

参照「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」（令和2年5月）

津市が考えている対策

津市では災害時の対応をまとめた「津市地域防災計画」や各種計画により、男女共同参画を踏まえた対策をしています。

- 避難所運営 出入り口のスロープ、トイレや更衣室等の女性専用スペースの確保、多様なニーズに対応した物資の供給、女性や子ども、高齢者などの多様な観点を取り入れた防犯対策を定め、適切な避難所運営の実施に向けた取組を行っています。また、女性の視点を生かすため、避難所を運営する組織に女性の参加を呼びかけています。
- 備蓄の対策 平常時から多様なニーズに対応した備蓄品を備えています。
- 女性職員の配置 様々な防災対策に女性の視点を反映できるよう、防災担当部局に女性職員を配置し、男女共同参画を配慮した防災対策の推進に取り組んでいます。

能登半島の現場から

令和6年能登半島地震に伴う被災地支援に、津市職員が派遣されました。派遣された女性職員から被災地の様子を聞きました。

- ・女性職員がいてくれると安心するし、相談しやすいと言われました。
- ・女性が避難所の場内アナウンスを担当すると、高齢者から聞き取りやすいと喜ばれました。
- ・避難所では男女それぞれのリーダーが積極的に活動し、被災者から聞き取りなどを行っていました。

まとめ

男女がお互いに尊重する社会づくりは進んでいましたが、生死に関わる大きな災害が起きた時にはこうした配慮が薄れ、後退することが報告されています。

日頃から備えをするとともに、もし災害が起きた時には、男女や様々な人の立場に立って助け合う心構えを忘れないようにしたいものです。

各分野でいきいきと活躍する方にお話を伺いました!!

地域でキラめく人 みいつけた

津市の女性農業者

現在、女性は全国の農業従事者の約4割を占める重要な担い手であり、今後の農業の発展や地域経済の活性化のためには、女性農業者が力を発揮していけるようにすることが必要です。

今回は、津市で農業に従事している女性3名にお話を伺ってきました。

Q

農業をすることになった
きっかけは？



▲写真

左：鵜飼 みわさん

三重県農村女性アドバイザー

農業が大好き。消費者さんにおいしいと喜んでもらえることにやりがいを感じて日々農作業に励んでいます。

右：小田 博子さん

キャベツをメインとした露地野菜、水稻を生産しています。農業は可能性が無限大。心にも体にもいい仕事です。また、時間の融通が利きやすいので、子育て世代にもいいと思います。

A

鵜飼：農業が大好きで、農業一筋です。実家が稲作専業農家で、畑作専業農家の夫と出会い、今に至ってます。きょうだい共に農業に関わっています。

小田：実家が兼業農家だったので、農業に従事することに抵抗はなかったです。夫と夫の両親が農業をしていましたが、請け負う土地が増えてきて、大変そうだなと思い、私も一緒にするようになりました。

木村：両親が農業法人でお茶を栽培しています。栄養士として、介護施設で働いていましたが、家業を継ぐことになりました。夫と一緒にやってもいいよと言って背中を押してくれたので、夫と一緒になら頑張ってみようと思いました。



鵜飼さん 小田さん 木村さん

Q

女性が農業に従事するうえでの難しさはありますか？

A

小田：農家同士の付き合いは男性が中心です。農業委員や農協の関係者が集まって話し合う会議もほぼ男性が参加します。そのため、女性は主体性をもって仕事をするというよりは、手伝いという立場だと感じます。

鵜飼：私自身は一人の働き手として仕事をしているという思いですが、仕事に関しての決定権は男性にあるように思います。

木村：会議では男性の参加が多いですが、女性に不利なことを決定されることはありません。

Q 役割分担など、一緒に働くうえで工夫していることはありますか？

A

小田：夫と同じくらい仕事ができるようにならなければいけないと思っていましたが、体力的に無理でした。夫もそれを私に求めていないと分かったので、夫とは違う仕事を、例えば、経理や経営のためのデータ分析、広報などを担当しようと思っています。

鵜飼：若い世代は、固定的な性別役割分担意識は薄らいできていると思います。農作業では大きな機械を使用しますが、女性にも使いやすい機械を使用することで、女性の働ける範囲が増えると思います。

木村：家事も仕事もそれぞれ得手、不得手があるので、それぞれの得意なことを担当するようにしています。



▲写真

木村 友里さん

農業法人でお茶を生産しています。異業種から農業に飛び込んでくれた前向きな夫と共に日々頑張っています。

Q これからやってみたいことや夢、目標はありますか？

A

木村：これからの茶葉は、飲料用だけの消費では限界があると思うので、お茶のおいしさを伝えるにはお菓子などの加工品を作っていきたいと考えていますが、自ら生産したものを自分で加工し、販売するという6次産業化はなかなかハードルが高いです。

小田：私の地域は平地が広がっていて、その中を電車が走っているの、その景観を維持したいと思ってます。菜の花などの景観作物を育てて、人が集まるようなイベントをして、地域の活性化につなげたいと考えています。また、菜の花は緑肥になるので、その土地でお米を作り、化学肥料を減らした米作りをしているという付加価値をつけたいと考えています。

鵜飼：小さい子どもを対象とした土遊びや芋ほりなどを企画して、とにかく地域がにぎわってほしいです。土いじりに興味を持ってもらい、楽しんでいる姿や笑顔を見るとこちらも元気をもらえます。農業は、体力的にきついですが、土地から多くの恵みをもたらえるし、自分たちが生産したものを消費者の方がおいしいと言ってくれる時は嬉しいし、そこに農業の喜びがあります。

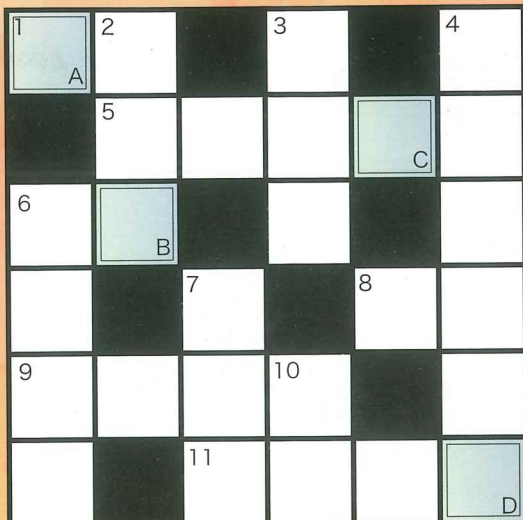
インタビューを終えて...

今回、津市で活躍する女性農業者の方にお話を伺い、農作物と向き合う日々の中で、家族だけでなく同業者や組合、行政の方々などとの関わりは想像以上に密であり、実はコミュニケーション能力が必要であること、また、高齢化や人出不足が顕著な現在においては、皆さんが男女関係なく、一人の働き手として貴重な人材であることがよく分かりました。

今はまだ男性が表舞台に出ることが多い状況ではあるようですが、たくさんの方々に津市の農産物を知ってほしい、今までなかった商品作りをしたい、農業をぜひやってみてほしいなど、女性農業者の皆さんそれぞれの農業に対する熱い思いが伝わり、自分と同じ津育ちの農産物が途端にいとしく思えてきました。



ヒント：子どもの頃よく歌いました。



【応募方法】ハガキまたはメールで、住所、氏名、年齢、電話番号、4文字の答え、本紙の感想を下記の編集・発行元へ【締め切り】4月30日（水）必着

※ 当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます

※ 前号（No.37）の答えは、「エイヨウ」でした。たくさんのご応募ありがとうございました！

タテのキー

- 2 同じ津市の地名が入ります。
○○○ダム。○○○サービスエリア。○○○川。
- 3 ○○○よく、テキパキできる人はすごいですね。
- 4 今号のレシピの一つです。○○○○○としめじの白和え。
- 6 津市では、災害時の対応をまとめた「津市地域○○○○計画」などで、男女共同参画を踏まえた対策をしています。
- 7 忙しいときは、みんなで○○○して作業すると早く終わります。
- 10 アウト⇄○○○

ヨコのキー

- 1 心の扉、開いてますか？扉を英語では○○と言います。
- 5 今号の「地域でキラめく人みつけた」は、津市の女性○○○○○者の皆さんへのインタビューです。
- 6 ことわざです。犬も歩けば○○にあたる。
- 8 農業や水産業などの1次産業が、加工、流通・販売を一体化して行うことを6次○○業化といいます。
- 9 「しあわせです」は、ビジネスの場面でつかうときは○○○○です」と表現されることが多いようです。
- 11 5月3日は、国民の祝日、○○○○記念日です。

津市ヘルスメイト

おすすめレシピ

ほうれんそうとしめじの白和え



■材料（2人分）

ほうれんそう……50g
しめじ………20g
にんじん………30g
豆腐（絹）………80g
【1人分 エネルギー 59kcal 塩分 0.2g】

A 白すりごま………4g
みそ……小さじ1（6g）
砂糖……小さじ1（3g）

じゃがいものガレット



■材料（2人分）

じゃがいも………130g
食塩………0.5g
粉チーズ………大さじ1（6g）
サラダ油………大さじ1/2（6g）
バター………大さじ1/2（6g）
【1人分 エネルギー 99 kcal 塩分 0.4g】

「食と健康の応援通信」1～6号でレシピを発信しています。ぜひ、こちらの二次元コードからご覧ください→

野菜たっぷり！塩分ひかえめ！ 簡単！なレシピを紹介します



■作り方

- ① 豆腐はキッチンペーパーで包み、レンジで2分程度加熱し、水気をきる。
- ② ほうれんそうはザク切り、しめじは石づきをとり小さめに切る。
にんじんはせん切りにする。
- ③ 湯を沸かし、にんじん、しめじ、ほうれんそうの順に加えて茹でる。
水気をしぼっておく。
- ④ ボールに①の豆腐をちぎり入れ、泡だて器などでよく混ぜ、Aを加えて混ぜる。
- ⑤ ③を加えて全体を和える。

時間差をつけて
1つの鍋で茹でます

■作り方

- ① じゃがいもはせん切りにしボールに入れる。
- ② ①に食塩と粉チーズを入れよく混ぜる。
- ③ フライパンにサラダ油を熱し②を広げる。
（フタをして弱火で約6分）
- ④ 鍋肌からバターを落とし、全体にまわす。
- ⑤ 焼き色を確認して裏返し、フタをせず5分焼く。
- ⑥ 食べやすい大きさに切る。

カリッと
仕上げます！



令和7年度「つばさ」編集スタッフ募集

つばさの企画から取材・調査・原稿作成・レイアウト・校正まで、ボランティアで参画していただけるスタッフを募集します。

- 1 対象 男女共同参画に関心があり、年2～4回程度、市本庁舎などで開催する会議に出席できる人。
- 2 申込 津市男女共同参画室にお問合せください。電話番号：059-229-3103（経験は問いません）
- 3 その他 「つばさ」最新号はもちろん、バックナンバーもご覧いただけます。

津市HPへリンク→



前号に寄せられた意見

- ・ 男性保育士さんの活躍が良く分かりました。
- ・ やりたいことをやる！それを仕事にするってすごいいいと思いました。
- ・ 豆腐クリームのパングラタンのレシピは牛乳と卵が苦手な私には、これを使わなくて良かったので気に入ってます。
- ・ アンコンシャス・バイアスを理解するにつれ、我々は日常会話でいかに男女の区別を無意識に使用しているかを反省し、改めるべきであると痛感しました。

編集後記

インタビューの中で、農業に関する会議への男性参加率は高いけれど女性に不利な内容を決定されたことはないというお話が印象的でした。

また、女性が経営に関与している場合は農産物販売金額等の伸び率が高いとのデータもあることから、今後の農業の発展や地域経済の活性化のためには、女性農業者の力を発揮していく場がますます必要になると感じました。